

平成24年度事業報告書

平成24年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下のとおりご報告いたします。

四年目における中長期計画(事業実施計画)目標稼働率に対する施設利用状況につきましては、ホールでは、目標稼働率 63.5%に対し 56.5%の実績で 7%減となり、対前年比では 1.6%の減となっている。要因としては、開館から16年以上が経過し経年劣化が顕著となっていることから市の舞台設備更新計画による総合的な修繕が実施され、改修日程の確保による33日間が貸館不能となったことが考えられます。改修対象は、①耐震工事②給電ケーブル交換修繕③調光器盤延命対策修繕④舞台機構制御機器修繕となっております。なお、展示多目的室では、目標稼働率 54.7%に対し 63.8%の実績で 9.1%の増、対前年比 2.9%の増となっております。今後も利用率の向上を目指し利用しやすい環境づくりに最善をつくしてまいります。

次に自主事業ですが平成24年度はホール事業18公演(内共催公演は4公演)、ロビー事業6公演を実施しました。

チケットの販売状況は横ばい状態で変わらぬ景気の影響を受け、話題の出演者でさえも販売が厳しい状況です。しかし、早い時期からの公演告知や出演者サイドへの働きかけをした結果、8公演が完売、もしくはほぼ完売となりました。事業内容は前年度同様、多彩なジャンルで実施しました。鑑賞型の事業では普段、大ホールクラスで実施している「八神純子」、「岩崎宏美」など注目を集める出演者を取り上げました。そして、「松岡直也 Play 4 You」など公共ホールでは取り上げられる事が少ない珍しい企画も取り上げ、好評をいただきました。また、毎年実施しているエコルマ・アンサンブルコンサートは財団法人地域創造による助成を受け、公共ホール音楽活性化支援事業(おんかつ)として実施。市内小学校と福祉作業所の計4か所へのアウトリーチもあわせて行いました。

共催事業として実施した「伝統芸能の今(出演:市川猿之助ほか)」、「綾戸智恵」などは事業団の主催事業としては実施が難しいのですが、公演実施の相談を先方より受けるなど、ホールが出演者側に広く認知されている事を示すものと言えましょう。その他に、夏のホールの貸し出しの少ない時期の有効活用として、東京文化発信プロジェクト共催事業「パフォーマンス・キッズ・トーキョー」を実施しました。これは公募小学生を対象にステージを使用してのプロの指導によるワークショップと発表による7日間の事業で、ホールとしても初の試みでしたが充実した事業となりました。

ロビー公演では今回、特に地元出身の出演者の公演が注目を浴び、好評でした。また、ホール公演で実施したアンケートで落語公演の要望が多いため、若手落語家による公演を実施しましたが、反応が悪く苦戦しました。支援型事業に関しては、公募により2団体を決定、実施しました。

また、8月には狛江市から依頼を受け、多摩・島しょ子ども体験塾事業「エン☆タメになる課外授業」の企画制作を行い、実施いたしました。

来年度も市内外の多くの関係機関の協力を仰ぎ、事業を実施して行きたいと考えます。